



文化博物館だより

第567号

2021年3月26日

今回の博物館だよりは、企画展「くらしのうつりかわり展 米づくりの春夏秋冬」の関連イベント、常設展示室ミニ展示コーナー展示替え、春季特別展のお知らせについてお届けします。

くらしのうつりかわり展ワークショップ「昔の農具体験&わら製品づくり」を開催しました。(2021年3月20日)



昭和時代の縄ない機を体験

参加いただいた子どもたちや保護者の方々には、最初に昭和時代の足踏み脱穀機と、縄ない機を実際に足で踏んで動かしてもらった体験をしていただきました。その後、わら縄づくりに挑戦！わらとは、もみを取った後の茎の部分で、かつては、様々な生活必需品の素材として活用していました。今ではわらを触ること自体貴重な経験ですね。今回は、わら製品の基本である縄をなうことにチャレンジしてもらいました。昔の生活に思いを馳せてもらえる機会になれば幸いです。ご参加くださったみなさまありがとうございました！



縄づくりの時の顔はみな真剣です。

常設展示室 ミニ展示コーナーを展示替えしました。

現在、当館の常設展示室ミニ展示コーナーにて、明石の郷土作家である石島 裕司氏(1927-2001)の水彩画「五輪塔」「漁船のある風景」を展示しております。石島氏は明石、神戸、姫路など兵庫県内をはじめとして様々な風景を水彩で描き、的確な描写と透明感のある色づかいが特徴です。展示している2点のうち、「五輪塔」は明石市内の史跡をモデルに描かれたものと思われます。また「漁船のある風景」は海と船底の鮮やかな青色が印象的な作品です。この機会にぜひご鑑賞ください。

4月17日より開催！春季特別展「浦上コレクション 北斎漫画」

江戸時代後期の浮世絵師・葛飾北斎は、自ら「画狂人」と称し、その90年におよぶ生涯をかけて、画道探究に情熱を燃やし続けました。

『北斎漫画』は全15編で構成され、山水、人物、動植物、建築物、妖怪まで森羅万象を描き尽くした、絵画の百科事典ともいえる絵手本です。初編が文化11(1814)年に発行されると、広い層より好評を得て、今でいうベストセラーになりました。北斎没後もその人気は途絶えることなく、第十五編は明治11(1878)年に刊行されたというロングセラーでもあります。

本展では、世界一の質と量を誇る浦上 満氏の『北斎漫画』コレクションの中から厳選された約200点をご紹介します。

＜関連イベントのご案内＞

■講演会「世界を驚かせた北斎と『北斎漫画』」《事前申込み&抽選》

日時：4月17日(土) 10:00~11:30 当館2階大会議室

講師：浦上満氏(浦上蒼穹堂代表・本展監修者)

定員：40名

※申込み締切日：4月8日(木)必着

■ミニ鑑賞講座《事前申込み&抽選》スライドで展示会の見どころをご紹介します。

①4月25日(日) 16:00~(30分程度) ※申込み締切日：4月15日(木)必着

②5月9日(日) 16:00~(30分程度) ※申込み締切日：4月22日(木)必着

講師：当館学芸員

場所：当館2階大会議室

定員：各回40名

■お申込み方法■

往復ハガキ往信面に①イベント名(ミニ鑑賞講座を申込みの際は希望日も)、②参加者全員の氏名(ふりがな)、③代表者の郵便番号・住所、④電話番号を記入し、返信面に必ず自分の住所・氏名を記入のうえ、下記住所までお送りください。

〒673-0846 明石市上ノ丸2丁目13番1号 明石市立文化博物館 春季特別展イベント係



《人物百態》初編

春季特別展「浦上コレクション 北斎漫画」

会期：2021年4月17日(土)~5月23日(日) **会期中無休**

開館時間：9時30分~18時30分(入館は18時まで)

観覧料：大人1,000円、大高生700円、中学生以下無料

お得な前売券 大人800円、ペア1,300円 4月16日(金)まで販売

詳しい展覧会情報は当館HPをご覧ください。

<http://www.akashibunpaku.com/>

おもしろい たのしい
来て、見て、発見！
ぶんぱくGO!!